

Rotary International District2780

GOVERNOR'S

Monthly Letter

奉仕しよう
みんなの人生を
豊かにするために



SERVE TO CHANGE LIVES

2022

2月号

Vol.8

2021-2022

ガバナー月信



国際ロータリー 第2780地区 2021-2022年度ガバナー 田島 透
Rotary International District2780 2021-2022 Governor Toru Tajima

ガバナーメッセージ

クラブ会長・幹事の皆様、 そしてクラブ会員の皆様へ



国際ロータリー第2780地区
2021～22年度ガバナー

田島 透

+「時代の先を進みましょう」

新型コロナウイルス「オミクロン株」の“感染爆発”の中で始まった2022年。ウイルスとの戦いと並んで私たち人類全体が向き合わなければいけないのが「環境の保全」です。とりわけ「地球温暖化」は、このままでは2030年にも地球環境は後戻りできない状態になると、世界中の専門家が警鐘を鳴らしています。

【7つ目の重点分野】

今年度、国際ロータリーは7つ目の重点分野として、「平和の推進」、「疾病との闘い」、「きれいな水の提供」、「母子の健康」、「教育の支援」、「地元経済の成長」に新たに「環境の保護」を加えました。これからは環境問題についても取り組んでいくこととなります。

環境問題は書籍やマスコミで大きく取り上げられており、最近ではNHKスペシャル「2030未来への分岐点」で地球温暖化、水・食糧の問題にプラスチック汚染などさまざまな世界規模の課題を取り上げています。

「ロータリー奉仕デー：

地球環境保全グローバルプロジェクト」

今年、世界中のロータリアンは環境問題に取り組んでいます。国際ロータリー第2820地区（茨城県・新井ガバナー）の呼びかけに、ロータリー奉仕デーとして世界各地のロータリークラブが市民と共に海岸や河川や湖沼の清掃活動を行っているのです。現在245団体（地区・クラブ・RCファミリー・各種団体・個人）から3万3千人以上の参加登録があり、このプロジェクトはまだ進行中です。

世界各国から3万人を超える参加者が、海岸・河川・湖沼の清掃活動を行い特にプラスチックごみの多さを問題視しました。プラスチックごみによる海洋汚染は、「マイクロプラスチック」として生物多様性の損失や食物連鎖による健康被害をもたらしています。「なぜここにゴミがあるのか？どこから来たのか？」など、それぞれの地域でこの問題点を発信しています。少しでも地球環境問題に関心を持ってもらい、一人ひとりの行動変容の重要性を発信し続けることが大切であると考えています。私たちは世界を変える行動人です。ポリオ

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
月間テーマについて	4
地区大会実行委員会より、ガバナー・ノミネー確定宣言	5
地区クラブ管理運営委員会より	6
ふじさわ湘南RC戦略計画について	8

インターアクト委員会より	10
ローターアクト委員会より	11
ロータリー研究会	12
コーディネーターニュース	13
ロータリーの創生	14
GROW MORE MEMBERSHIP、新会員紹介	15

ガバナーメッセージ

根絶への貢献が示すように環境問題はまさにグローバルに取り組む問題です。私たちは地域社会のリーダーとして環境問題に正面から取り組み、「何ができるか、何からはじめるか」を考えたいものです。これはロータリアンが最も力を発揮できる分野であると思います。

【2030年へ“脱炭素”への挑戦】

2021年10～11月に開かれたCOP26で、2030年に「+1.5度目標」を達成することを確認しています。温暖化の進行を食い止めるためには、+1.5度以下を目指して温室効果ガス(CO2など)の排出量を減少させていくことが必要と報じられています。目標達成を確実にするには2030年までのように行動するか、残りの8年に政府や市民、地域、企業に温室効果ガス排出量を大幅に減らす政策や生活様式そしてビジネスへの転換が迫られています。街中を歩いていると地球温暖化防止のポスターを見かけたりします。多くの人は見慣れてしまい、他人事のように麻痺し何の気なしにその前を通り過ぎていきます。しかし決して慣れてしまっただけではいけないのです。直面する2030年の危機を解決し“その先の明るい未来”を子供たちに残していかなければなりません。今、私たちは何を学び、何を大切に、どのように行動するのか一緒に考えていきましょう。

【ロータリーの未来形成

S R F : Shaping Rotary's Future】

1915年からの長い歴史を持つ地区制度とガバナー制度を見直す時期がきたようです。国際ロータリー理事会で2030年を目途とした「ロータリーの未来形成」が議論され、キーワードに「地域化」が強調されています。現在の地区やガバナー制度は十分に機能していないという判断による提案です。

現在、国際ロータリーは約530の地区そして35,000以上のロータリークラブで組織されてい

ます。これらの地区はさらに34の地域ゾーンに分かれています。この530地区を言語圏や文化圏を中心として約20～40のリージョンという名称で分けます。草案では28地域が提案されています。日本は1地域です。地域はさらに世界で1,500～1,600のセクションに分けられます。そして1つのリージョンは、30～40のセクションに分けられます。日本の34の地区は102のセクションに生まれ変わる予定です。そしてガバナーは3年任期のリージョナルカウンスルと2年任期のセクションリーダーへと変更されます。はたして第2780地区はどのようになるのでしょうか。わかっていることはこれだけで、具体的にもうすこし詳しいことがわかってくれば、皆さんにお伝えしていきます。

シェカール・メータRI会長は、「時代は変革期を過ぎ、新しい時代に突入しております。ロータリーも新しい変化に対応していかなければいけません。時代の先を進まなければいけません。次の世代に夢をつないでいくのは、私たちなのです。」と話されました。

私たちは「未来のロータリー」を考え、ひとり一人が、新しいロータリーを築く気概を持って、これら変化を恐れず胸を張って困難を乗り越える必要があると思います。10年先にわれわれが思い描く未来の社会をこれからどのように実現させるか、持続可能な未来を実現のために新しい時代を一緒に考えていきましょう!

参考資料:

- ①2030未来への分岐点 1 持続可能な世界は築けるのか NHKスペシャル取材班
- ②気候変動は拡大し加速し深刻化している (2021年8月9日付IPCCプレスリリース)

平和構築と紛争予防月間

2015～16年度
グローバル補助金奨学生

松隈 舞
(旧姓:片岡)

私は茅ヶ崎中央RCによるご推薦のもと、2015年にグローバル補助金をいただき、イギリスのマンチェスター大学で、紛争に焦点を当てた国際開発学の修士課程に留学しました。卒業後、アメリカの国際NGO、日本の開発コンサルタント会社、国連開発計画にて、平和構築事業の仕事に携わりました。

平和な日本に生まれ育った私は、紛争をする人々の気持ちを理解することができず、だからこそ、どうして争いが起こるのか知りたいと思い平和構築の分野で勉強や仕事をしてきました。本稿では仕事を通じて感じた紛争の複雑さと平和の多面性について考えたいと思います。

紛争の原因分析は非常に複雑で、たとえば、民族紛争は単に民族が違うというだけで争いに発展しているわけではなく、植民地時代に統治のために特定民族の対立構造が作られたり、選挙で勝つために政治家が民族的レトリックを用いて市民を扇動していたり、様々な要因が影響しています。

私が直近に滞在していたエチオピアでは、2020年11月から現政権と反政府勢力の間で紛争が起きており、昨年11月頭には反政府勢力が、いよいよ首都から



コートジボワールにおける平和構築事業の写真



大学院でのフィールドワークの写真
(北部ウガンダで反政府勢力に誘拐された経験のある女性グループとの面会)

数百メートルのところまで侵攻してきたため、緊急帰国となりました。今回のエチオピアの事例で再認識したことは、平和の定義の難しさです。アビイ現首相はエリトリアとの和平を実現したこと等が評価されて2019年にノーベル平和賞を受賞しています。ところが、エリトリアとも対立関係にあった反政府勢力にとっては、この和平は脅威そのものでした。その後、実際にアビイ首相は、エリトリア軍を味方につけて反政府勢力を攻撃しました。片方にとっての平和は、相手にとっては脅威となる場合もあり、360度どこの誰から見ても平和な状態を作ることは容易ではありません。

紛争をする人々には彼らなりの正義があり、平和を脅かしても手に入れたいものや、守りたいものがあるのだと思います。平和学の第一人者であるヨハン・ガルトゥングは、単に戦争のない状態を「消極的平和」、貧困・抑圧・差別などの構造的な暴力のない状態を「積極的平和」と呼びました。今紛争をしている彼らは、紛争を開始するよりもっと前から、構造的な暴力に晒され、平和でない日々を送っていたのかもしれない。もしそうであれば、たとえ停戦や終戦となっても、彼らの抱える根本的な問題が解決されない限り、彼らの中の「紛争」は終わらないのではないかと思います。

こういった貧困・抑圧・差別などの構造的な問題は、今の日本にも存在していると思います。そう考えると、遠い国で起きている紛争も、自分たちの抱えている問題と通ずるところがあると感じることができるのではないのでしょうか。

地区大会テーマ 「SHIFT UP ROTARY」 (未来へ加速しよう)



2021～22年度
地区大会実行委員会

委員長 市川 洋
(ふじさわ湘南RC)

立春の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、コロナ禍もようやく落ち着いてきたと喜んでた矢先に、新型コロナウイルスの新たな変異株「オミクロン株」が世界各地で猛威を振るい始めました。神奈川県でも1月21日から2月13日まで全市町村を「まん延防止等重点措置」の対象といたしました。

地区大会実行委員会では、地区のガイドラインに沿って企画をしておりますが、大会当日にはコロナ禍の終息を迎えるとの判断で、引き続き開催の予定で準備をしております。

また過日お知らせいたしました、2月28日・レイクウッドゴルフクラブで予定しておりました「地区大会親睦ゴルフ大会」につきましては、状況を考慮し残念ながら中止といたしました。

皆様方の健康と安全の確保を最優先し、プログラムを簡略化しつつも、内容が凝縮された地区大会となるべく準備を進めております。

本大会開催日は春分の日。春の訪れとロータリーを多くの仲間と共に祝福できますよう、皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

国際ロータリー第2780地区 2024-2025年度ガバナー・ノミニー確定宣言

2024-2025年度ガバナーノミニー選出に際し、2021年10月1日付けで各クラブ宛に、2021年11月30日12:00を締切とし、最適任の会員をガバナーノミニー候補者として提案頂くように要請致しました。

2021年12月10日15:00より指名委員会を開催し、討議致しました結果、大和田園ロータリークラブよりノミニー候補者として提案のありました佐々木 辰郎(ささき たつろう)会員をノミニーとして指名致しました。

RI細則第12条(12.030.7)に基づき、2021年12月10日付けで、対抗候補者の推薦の締切を2021年12月23日12:00とし、各クラブに候補者の告知を致しました。

期日までに対抗候補者の推薦がありませんでしたので、大和田園ロータリークラブ佐々木 辰郎会員が、2024-2025年度ガバナーノミニーに確定したことを茲に宣言致します。

ガバナー 田島 透



ガバナーノミニーデジグネート
ささき たつろう
佐々木 辰郎
(大和田園RC)

所属クラブ 大和田園ロータリークラブ
生年月日 1946年11月10日 74歳
職業分類 ソフトウェア開発
職業/役職 株式会社 エス・エフ・ティー 代表取締役
最終学歴 国立秋田大学 鉱山学部卒

ロータリー歴

1990年3月9日 大和田園RC入会
2007年～08年度 クラブ会長
2010年～11年度 ガバナー補佐
2011年～12年度 地区研修委員会 委員

2012年～13年度 地区研修委員会 委員
2013年～14年度 地区研修委員会 副委員長
2014年～15年度 地区公共イメージ委員会 委員長
2015年～16年度 地区公共イメージ委員会 委員長
地区危機管理委員会 委員
2016年～17年度 地区クラブ管理運営委員会 委員長
2017年～18年度 地区クラブ管理運営委員会 委員長
地区立法案検討委員会 委員

ロータリー表彰

ポール・ハリス・フェロー/メジャードナー/ベネファクター/米山功労者

クラブフューチャービジョン セミナーを開催



2021～22年度
地区クラブ管理運営委員会
委員長 **大隈 秀仁**
(相模原ニューシティRC)



【セミナーの実施概要】

開催日時 2021年12月4日(土) 13時00分～17時30分
開催場所 相模原市立産業会館(多目的ホール)
講師 アックインテリジェンス 代表 小針憲一氏
主催 地区クラブ管理運営合同委員会
連携 地区戦略計画委員会
参加者 地区内52クラブ・63名 地区関係者53名
米山学友生3名

【セミナー開催までの経緯】

クラブフューチャービジョンセミナーは、当初、2021年8月21日(土)に開催を予定していましたが、2021年8月2日～8月31日までの期間に新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発出された事により、参加者の安全を第一に考慮し、2021年12月4日(土)に延期させていただきました。また、開催時期が12月ということもあり、出席対象者をクラブ会長から会長エレクトに変更させていただきましたが、延期したことにより、出席を予定していただいておりますクラブ会長の皆様にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

さて、12月4日に延期した時点で協議しましたことは、再度、緊急事態宣言期間中になることを想定し、更にはセミナーの内容からしてハイブリッド開催では運営にリスクが伴うこと等を考慮し、対面と完全Zoomでの両面で準備を進める事にしました。また、Zoomの中での討議についてはファシリテーターと書記に高いスキルが求められると考えて、ファシリテーターと書記の研修をできる限り実施することを計画しました。また、セミナーにご参加いただく方々に十分な討議を行っていただけるように1グループを少人数(5名程度)にすることを計画しました。そうすると討議グループが12グループになるために、ファシリテーターと書記を24名配属しなければならないことになり、当合同委員会だけで対応は厳しいと考え、地区チーム横の連携で地区戦略計画委員会の方々、他の委員会の方、更には、多様性の観

点から米山学友生の方々にも参加していただき、総勢30名以上の方々で準備を進めました。そして、ファシリテーター・書記の研修については本番を想定した模擬討議会という形で進めたので、1回の研修に費やした時間は3.5時間～4時間に及びました。この時間は、本番とほぼ同様の時間をかけたこととなりますが、このような研修を6回実施しました。これほどまでの時間をファシリテーターと書記の方々に費やしていただき大変なご苦勞をおかけしました。

開催当日は新型コロナウイルス感染者数が低推移を続けていたことから対面で開催できましたので、Zoomでの実践はできませんでしたが、ファシリテーターと書記の方々は貴重な経験をされたと思いますし、参加者の皆様にはリアルな討議を体験していただけてとても良かったと思っています。

【セミナー開催の目的】

魅力あるクラブ運営のあり方を検討

国際ロータリーはRIのビジョン声明、行動計画、行動目標を実現するために、クラブの特性を踏まえ、クラブレベルでのビジョンと行動目標に結びつける方法を模索することを奨励しています。そのため、クラブでは行動計画の優先事項や目標について話し合い、その話し合いの結果を基にクラブ独自の戦略を立て、魅力あるクラブ運営のあり方を検討することが望まれます。そこで、バックキャスティング(理想的な未来の姿から逆

地区クラブ管理運営委員会より

算し、現在取り組むべき施策を考える思考法)を使って、クラブビジョン及び行動計画立案の参考となる「クラブフューチャービジョンセミナー」を開催いたしました。

【セミナーの開催概要】

本セミナーは、市民討議会の手法をアレンジして、参加者に12グループに分かれて討議していただきました。また、グループ分けは参加者の一体感を出すために、極力、同じ地域のクラブ会長エレクトの方々で組み合わせをしました。



【討議の内容】

グループごとに下記のテーマで討議していただき、最後の討議4で夢実現のためのスローガンを作成していただきましたが、各グループとも活発な討議が行われました。

討議1 「自分のクラブはどんなクラブ？」

討議2 「10年後どんなクラブを目指したいか
夢を描こう！」

討議3 「夢、実現のために何を？」

討議4 「スローガンを作ろう！」

【地区内クラブの現状】

セミナー開催前にクラブビジョンの有無についてアンケートを実施させていただいた結果をご紹介します。地区内65クラブを100%として、
クラブビジョンがある(20%)・現在策定中(21%)・
ない(45%)・未回答(14%)

上記の結果から現時点でクラブビジョンのあるクラブは30%弱と推定されますが、「活力ある魅力溢れるクラブを築くためには、クラブビジョンの策定をお勧めしております。今回のセミナーにご参加いただいた皆様には、セミナーで実践していただいた内容をクラブで共有していただき、クラブ独自のビジョンを策定していただければ幸いです。尚、セミナー実施報告書をクラブ事務局へ配信しておりますので参考になさってください。

【各グループのスローガン】

最後にセミナーで作成していただいた各グループのスローガンをご紹介させていただきます。

【Aグループ】

地域のニーズをとらえ、多様な人達と一緒に魅力的な奉仕活動しよう!

【Bグループ】

つながる夢、推し SDGsロータリークラブ

【Cグループ】

「地域」と「人」と「ロータリー」 価値を高め楽しもう!!

【Dグループ】

Let's challenge Happy New Rotary!!

【Eグループ】

稼ぐ 貯める 使う 健康 生涯毎年ハワイ!!

【Fグループ】

垣根を越えよう 夢と出会いがここにある

【Gグループ】

地域とニーズを取り入れ 女性も参加しやすく 充実した奉仕活動しよう!!

【Hグループ】

原点を守る品格 良き未来

【Iグループ】

社会のニーズに応え、みんなの助けになり、思いやりと笑顔あふれるクラブにしよう

【Jグループ】

開かれたロータリー! 地域に手をさしのべ 世界にっ
なげよう奉仕の輪

【Kグループ】

多様な社会に 孫の手 人の手 ロータリーの手

【Lグループ】

伝統を継承し 世代間を超えて ロータリーを語り
地域の人達の幸せの為に 奉仕しよう!!

【お問合せについて】

クラブビジョン策定についてのご質問等がありましたら、ガバナー事務所、または下記URLの「今さら聞けないロータリー(よろず相談掲示板)」からお問合せください。

https://rid2780.gr.jp/rotarians/committee_introductions/club_mgmt_admin/index.html



ふじさわ湘南RC戦略計画について

クラブビジョンの策定！ それはクラブ会員が輝く為の 未来を創るプロジェクト！



2021～22年度
地区副幹事
松下 力
(ふじさわ湘南RC)

1. クラブビジョン、戦略計画の策定の動機

1.-① クラブビジョンの策定に当たり！

私達、ふじさわ湘南RCは、私達が漠然と抱いていたクラブやロータリーに対する「素朴な疑問」を払拭する手段として、クラブビジョンと戦略計画を策定いたしました。

1.-② 私達が抱いていたクラブ、ロータリーへの素朴な疑問！

ロータリーはRI会長が代わる事で、RIと地区の方針が変わります。クラブもまた会長が代わり、年度方針や目標が変わります。そして年度が終わると1年間の活動がリセットされ、白紙の状態からまた新たな1年がスタートする。ロータリーはその繰り返しです。当然、クラブが掲げた年度方針や目標に対して、

***取り組めなかった活動！**

***取り組んだけれど達成できなかった活動、決定できなかった審議事項！**

もある訳です。

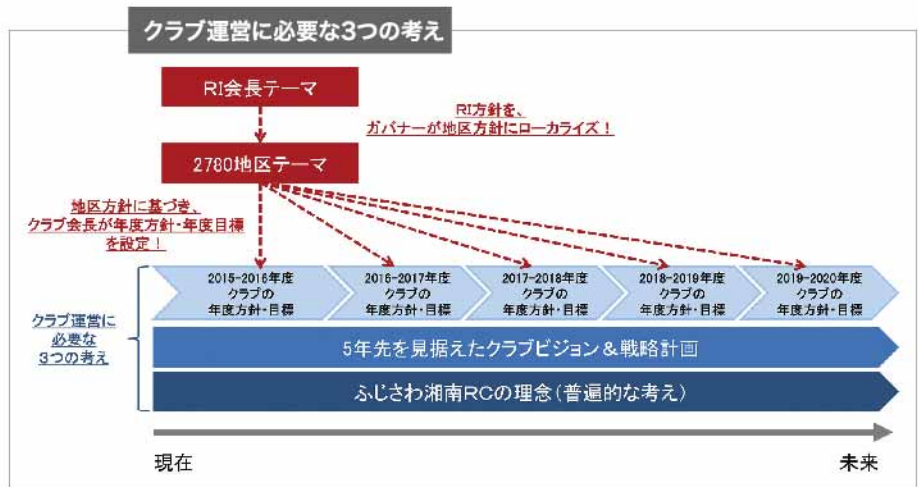
これらは本来、次年度への申し送りになる訳ですが、場合によっては会長から会長へのバトンが繋がれず、プツッと遮断される事もあるのです。それがクラブやロータリーに対して感じていた「素朴な疑問」でした。

1.-③ 素朴な疑問、払拭に向けて！

RIと地区の方針、クラブの年度方針や目標が変わっても、自分達が向かうべき灯台は何処か？

この先、クラブ会員が一枚岩になる為の心棒や種火は何か？

その答えが、会長が代わり、クラブの年度方針や目標が変わっても、クラブが歩むべき灯台を照らすクラブビジョン、掲げたビジョンを実現させる戦略計画の存在だったのです。



2. クラブ会員が輝く為の未来を創るプロジェクト

2.-① プロジェクトの立ち上げ！

クラブビジョンや戦略計画は、先に掲げました疑問を払拭する為に必要な存在でしたが、それが無くてもクラブ運営が直ちに滞る事はありません。クラブビジョンや戦略計画があれば良いけれど、策定に例会や奉仕以外の時間を費やすのは如何なものか…。

そこでクラブ会長を拝命された2015-16年度の方針として、

***クラブ創立15周年記念式典の実施！**

***5年先の20周年に向けたクラブビジョンと戦略計画の策定！**

***15周年記念式典にて、クラブ内外へのクラブビジョンと戦略計画の発信！**
を掲げプロジェクトを立ち上げました。

ふじさわ湘南RC戦略計画について

2.-② プロジェクトの構成メンバーは若者、バカ者、よそ者で!

クラブビジョン、戦略計画の策定には、「ロータリーのあるべき論」に縛られないメンバーを中心にプロジェクトチームを編成。それが若者、バカ者、よそ者でした。

5年先、10年先のクラブやロータリーを担うのは、

＊新たな価値観でこれから生き抜く若者!

＊型におさまらず、想定外の発想を持ったバカ者!

＊まだロータリーをあまり知らないよそ者!

即ち今後、クラブを牽引する会員を集めた特命委員会を発足、プロジェクトを始動させました。

2.-③ プロジェクト始動!

Step①:ブレインストーミングとKJ法で現状把握

クラブの強み、弱みを自由に意見交換し、発案された意見をKJ法で特性別に整理、見える化、クラブの現状及び立ち位置を把握する事から始めました。

Step②:SWOT分析でクラブビジョンの設定

現状把握と起こりうる環境変化から機会と脅威を想定し、そこから自分達が向かうべき灯台(クラブビジョン)を設定しました。幸いなことに、5年後に開催される東京オリンピックのセーリング競技を江の島(藤沢市)で開催する事が決定しておりましたので、これを千載一遇の機会と捉え、学生や地域の人達と実践するオリンピックに関わる奉仕活動をビジョンとして掲げました。

Step③:クラブビジョンを実現する手段の設定

クラブビジョンの実現には、解決しなければならない課題が沢山ありました。これら課題を4つの重点テーマに分類し、更に8つの課題に細分化し、その一つ一つの5年のゴール(あるべき姿)を設定しました。

4つの重点テーマ、8つの課題			
重点テーマをより深く検討!			
重点テーマ	テーマの詳細	2019-2020年度のゴールイメージ	今後の検討事項(案)
組織力強化目標	質の高いクラブ会員数の増強	会員50名体制の実現	魅力ある奉仕事業の実践と発信(web・媒体活用) 会員増強制度・手法の策定・ブラッシュアップ 影響力のある新会員の獲得 事務局(パートタイム)の脱退
	クラブ会員の適正配置 (クラブ会員数の増強と運動)	会員1名、一委員会制の実現 (クラブ会員数の増強と運動)	湘南学園との協力関係強化 インターアクトクラブ等、新規グループ立ち上げ
体質強化目標	外部運営パートナーの組織化	インターアクトクラブ創設等、学生を中心とした活動グループの組織化	新たな慣習スタイル(スカイプ等の活用)の模索 魅力ある例会運営、魅力ある早稲者の選択 強クラブへのマーケティング・プログラム検討
	例会出席率の改善	出席率100%を目指した例会運営 (新会員向け研修プログラム・2016年規定審議会と運動)	テキスト・冊子等、独自の研修ツール開発(webと運動) クラブ定款・規則の用紙と徹底方法検討
IT推進化目標	新会員向け研修プログラムの確立・運営	研修プログラムの標準化とローカルスタンダード化	入会後の委員会履修・フォローアッププログラム検討 出入管理・出席率管理のIT化
	事務局機能のIT化	事務局機能IT化のローカルスタンダード化	連絡事項自動送信・受審済み会員の可変化 クラブ履歴のデータベース化へいつでも検索可能
資金目標	外部アクセス数の多いWebコンテンツの継続発信	非常利団体webサイトのスタンダード	情報アップデートの委員会、先任者継承 SEO対策でトク検索 クラブ会員数の増強と運動
	資金計画の最適化	国際奉仕活動、創立20周年記念式典に向けた資金の確保	物品管理方法の検討(購入品数くなる〜無駄な出費) 2020-21年度必要予算の算出

Step④:クラブビジョンと戦略計画のリリース、そして実行

そしてクラブの15周年記念式典にて、クラブ内外の多くのロータリアンにクラブビジョンと戦略計画をリリースする事で、

＊策定したクラブビジョンと戦略計画を権威付ける

＊次年度以降の会長が、クラブビジョンの実現に向けバトンを繋ぐことを目指しました。

3.クラブビジョン、戦略計画の策定から5年が経過

クラブビジョンと戦略計画は、クラブの会員一人一人がこれからもロータリアンとして輝き続ける為に存在するものだと認識しております。

＊魅力的で好奇心が喚起されるクラブビジョンと戦略計画!

＊分かりやすく共鳴、共感できるクラブビジョンと戦略計画!

クラブビジョンと戦略計画は、策定過程を含め、会員一人一人を輝かせることに繋がると思います。

そして輝く会員が増えることで、楽しく、躍動的で勢いのあるクラブになるのではないのでしょうか。

インターアクト委員会より

インターアクトXmas交流会

2021年12月11日 14:30~16:45
(フルオンラインZOOM)

2021~22年度
インターアクト委員会

委員長 **大河原 幸夫**
(相模原西RC)



昨年度に続き2年連続でインターアクト年次大会は中止となってしまいましたが、インターアクター同士の交流を目的に、鎌倉大船ロータリークラブが提唱する「鎌倉学園中学校高等学校」がホストとなりフルオンライン (ZOOM) で「**インターアクトXmas交流会**」を開催しました。

テーマ **いまのわたしたちにできること**

内容:3部構成で

- 1.各校発表～学校ごとの自己紹介と活動報告
自己紹介動画と「私たちのこれから」イラストを作成し発表
- 2.オンライン交流会～複数の学校でグループを作り交流
SDGs絵しりとりゲーム
SDGs絵心大会
- 3.講評・各賞発表～ロータリアンによる審査、講評
田島ガバナーから①最も印象的な学校を発表
岡田青少年奉仕委員長から②最も印象的なチームを発表

地区内のインターアクトクラブから80名以上の中学生・高校生のインターアクターが参加して、楽しく笑顔で交流会を行いました。

第1部では各インターアクトクラブから学校発表と自己紹介、そして「私たちのこれから」と題してイラストを作成頂いたものを紹介してもらいました。

第2部はZOOMのブレイクアウトルームに分かれて自己紹介からスタート。グループ毎に交流しながらSDGs17個の目標に絡めたゲームを行い、最終的に1枚の絵を完成してもらいました。インターアクターの斬新な絵心やゲームへの順応力は流石に素晴らしかったです。

第3部では田島ガバナーから第1部の学校発表で最も印象的な学校を発表、岡田青少年奉仕委員長から第2部で最も印象的な絵を完成させたチームの発表を行いました。

また最後には田島ガバナーサンタとIA委員長サンタが登場して、参加者にクリスマスプレゼントを贈呈。一番盛り上がった瞬間です。

コロナ禍で台湾研修も中止となっていますが、来年こそはフルスベックで全ての行事が再開できると良いですね。

今年度インターアクト委員会では今後、3月の新世代交流会、1泊研修および台湾のインターアクターとのオンライン交流等を企画しています。

Xmas交流会の開催に向けご尽力いただいた鎌倉学園中学校高等学校様、全てのインターアクトクラブ、インターアクト学友会、そしてロータリアンの皆様、ありがとうございました。



参加者(109名)

- ・インターアクトクラブ 9校 85名
- ・インターアクト学友会 4名
- ・ロータリアン 20名

国際ロータリー第2780地区 ローターアクト委員会 報告

2021~22年度
ローターアクト委員会

委員長 **大野 宏一**
(逗子RC)



ローターアクトクラブの変化に関する経過(ローターアクト第32回関東ブロック研修会より抜粋)

2016年 4月	規定審議会で採択:ローターアクターが正会員になることを認める(ロータリークラブとの二重会員が認められる)
2018年 1月	R理事会が奨励:PETSや地区研修会議にローターアクトクラブの代表者を派遣することを推奨。その費用をロータリークラブや地区が支援すること
2019年 1月	国際協議会にローターアクト代表を公式に招待(60名)
2019年 4月	規定審議会修正動議で承認:ローターアクトクラブのRI加盟
2019年 4月	ロータリー財団管理委員会はローターアクトの寄付認証を承認。少なくとも5名のローターアクトクラブの会員が50米ドル以上を寄付する場合、財団から特別な感謝状がクラブに送られる
2019年 7月	R理事会はローターアクト地位向上タスクフォースを設置し、下記を検討 <ul style="list-style-type: none"> ローターアクターの人頭分担金(金額および時期) 財団プログラムへのローターアクトの参加 コミュニケーションと変更管理計画 ロータリー章典41.040節(および関連する節)の見直し ローターアクトの状況変化でもたらされる、その他すべてのテーマ
2019年10月	ローターアクト定款の変更(2020年7月より有効)年齢制限廃止などロータリー章典のローターアクトクラブの記述を大幅変更。スポンサー、会合や活動研修などすべての項目が新たに決定
2020年 1月	R理事会は、2022年7月よりローターアクターの人頭分担金徴収8ドルを決定(但し、大学基盤のクラブは5ドル)年齢上限撤廃については、更にそれを明確化し、クラブ細則で上限を定めることができ、義務化しないことに修正
2020年 1月	2022年7月1日付で、ローターアクトクラブがグローバル補助金プロジェクトで、援助国側提唱者または実施国側提唱者になること(但し、ローターアクトクラブがグローバル補助金で以前にロータリークラブと一緒に活動したことがあることを条件とする)を許可することに同意
2020年11月	標準ローターアクトクラブ定款を改正。ローターアクトクラブに名誉会員をおくことができ(会員が2つ以上のローターアクトクラブの名誉会員に選ばれることを認める)また、ローターアクトクラブが衛星クラブを設置できる事が決定。 2022年規定審議会上、ローターアクターが代表議員となることを規定する件を理事会提案とする

委員会は各月第3日曜日13:00より1時間30分程度、Zoom環境を利用したハイブリッドでの開催となっており、ローターアクターが参加しやすいよう配慮しています。

2016年4月以降の『ローターアクトクラブの変化に関する経過』について内容を共有することを目標の一つとして、本年度上半期5回の委員会を開催いたしました。

現在国際ロータリー第2780地区では5つのローターアクトクラブ(相模原・鎌倉・横須賀・小田原城北・厚木中)が活動中。地区内ローターアクターより、毎年地区ローターアクト代表を1名選出しています。【本年度は竹田翔哉君(厚木中RAC)地区ローターアクト委員兼任】

そのローターアクト地区代表が主催する年1回の大会が、2021年12月12日に開催された『第33回ローターアクト地区大会』(実行委員長:森田琉偉君 ホストクラブ:厚木中RAC)。

9月より準備を始め、役割分担・大会内容を検討し、新型コロナ感染症の状況を考慮し、昨年度に引き続きZoom環境でのオンライン会場に決定。当日は第一相澤ビル6・8階会議室を本部として開催。事前録画作業と当日ライブ中継を組み合わせて、式典・メインプログラムを実施。メインプログラムにはロータリアン・友好地区ローターアクター・インターアクター・ROTEX・米山学友等からの登録者も全員参加で有意義な交流ができました。全てをローターアクターが計画。数日後には反省会も行っています。

2022年に入り本年度後半の予定といたしまして、

1月29日 地区補助金セミナーへの参加(検討中)

3月21日 新世代交流会(地区大会2日目)への参加

4月29日 地区研修・協議会への参加(検討中)

また、新ローターアクトクラブ設立の奨励計画も合わせて検討中です。ご興味のある方は、地区ローターアクト委員会にオブザーバー参加頂けます。(ガバナー事務所にご連絡ください)

ロータリー研究会について



2021～22年度
第5Bグループ・ガバナー補佐
宍住 悦子
(相模原中RC)

12月7日(火)・8日(水)にかけて東京都の芝公園にあるメルパルクホールで行われた「第50回ロータリー研究会」に初



開会式

めて出席してきました。「ロータリー研究会」は毎年東京と神戸で交互に行われているようですが、昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、オンラインによるバーチャル研究会となっていました。日本全国から集まる研究会であり、いまだコロナが終息したと言えない状況の中での2年ぶりの対面開催ということで、ホストの東京西ロータリークラブはご苦労されたと思いますが、種々のスケジュール変更がありながらも円滑な進行でした。招集者は東京西ロータリークラブの辰野RI理事です。約600名(パートナー含む)の参加者の内2780地区からの登録者が41名と東京の地区を除けば最も多く、ガバナー補佐も全員が登録していました。

研究会はシェカール・メータRI会長をはじめ、RIの財務委員や財団の副委員長などがビデオレターで参加され、また8日はメータ会長とオンラインで質疑応答を行うなどRIや財団の顔が見え、身近に感じられました。印象的だった内容を少し記します。

RIの財務報告では、会員の減少で歳入は減少したものの新型コロナウイルスの影響で歳出が減り黒字になったことと、今後5年は赤字となる予想だが今年が会員が想定よりも多く120万人を達成し、古いシステムを入れ替えたことでコストが削減でき黒字になる可能性も高いとのことでした。

ロータリーの地域化に関して、現在の地区がなくなり新たにセクションに分けられるという話ですが、セクションは地区より小さくグループよりは大きい単位のようにです。今後世界の一部地域で6年間のパイロット期間が設

けられるということですが、細かいことまで決まっているわけではないようです。

他の大きな変更はローターアクトクラブの会員にロータリアンの資格が与えられることでしょうか。ローターアクターも奉仕活動に対して補助金の申請ができたり、またガバナーなどの役職に就くこともできるという話もありますが、人頭分担金が一般のロータリアンに比べてたいへん低く抑えられているため反対も多いようです。こちらは今後細かい点は詰められていくと思います。

ポリオではポリオプラスアドボカシーの小沢アドバイザーが、ビルゲイツ財団がロータリーと協力してポリオに寄付をすることになった経緯をお話しされたのが大変興味深かったです。

個人的に最も感銘を受けたのは、ロータリー日本財団の理事長が90歳を超えていて、その代理で来られた理事の方もまた90歳を過ぎていたことです。活躍の場があるということは長くお元気である秘訣でもあるのでしょうか、素直に尊敬してしまいます。

研究テーマ「輝く未来を創る」に関連したパネルディスカッションでは、「多様性のある会員基盤」「未来を創る奉仕活動」「ロータリーの未来像」の3つのセッションが行われました。新しい重点分野「環境」に対する関心が高いことがうかがわれ、日本のロータリーが発信した「環境保全プロジェクト」が世界のロータリアンの参加する大きなプロジェクトとなるなど、オンライン化、SNSの進展によってよりインパクトの強い活動が可能であることを実感しました。また近年次々と導入されているロータリーの柔軟性と、これまでの伝統をどう継承していくのかは今後も重要な課題となっていくと感じました。



記念祝賀会では東京西RCの会員が「中節」を披露

2022年も年始からCOVID-19との闘いが続く

昨年の2月号コーディネーターニュースに「新型コロナウイルス感染拡大が第3波!緊急事態宣言」と題して書かせていただきましたが、1年経ってまたもや、日本では第6波がオミクロン株によってもたらされ、年末から20歳・30歳台を中心に急激に感染者が増え始め各地で「まん延防止等重点措置」を検討しております。

これから3～4週間後に高齢者にも感染者が広がり医療ひっ迫状況に追い込まれていくのではと危惧されます。メルクの飲み薬が出て、2月にはファイザーの飲み薬が適用されると治療に明るい兆しがありますが、高齢者の方々に3回目のワクチン接種が終わるのには数か月、4月乃至5月までかかるでしょうから油断せず、感染予防対策を万全にいたしましょう。

2022年7月からローターアクトクラブ会員が人頭分担金を納入することになっております。人頭分担金の件、地区の委員会にローターアクトの参加、またロータリー財団への寄付、補助金の使用など、多くの事をロータリアンとローターアクトとが交流できる機会を今まで以上に増やし話し合っ上りの内容の方向付けが急がれます。もうしっかり方向付けが済んでいる地区・クラブも多いのですが、国際ロータリーの会員はロータリークラブとローターアクトクラブであるという事に変わったことをロータリアンとローターアクトがしっかり捉えてそれぞれの立場でロータリー活動していく事が大切でしょう。

もう一点の話題として(以下My ROTARYより)

ロータリーは、すべての人と尊厳と尊重をもって接し、あらゆる人の声に耳が傾けられるようにし、親睦、奉仕、リーダーシップの公平な機会を設けることに力を注いでいます。ロータリーの会員は、ロータリーが多様で、公平で、インクルーシブな組織となることを望み、またそうあるべきであると考えています。ロータリーは、開放的なコミュニケーションを育み、学びあい、支えあうことのできる環境を作りだすことに全力を傾けています。国によってロータリーでの体験は異なるかもしれませんが、不平等や偏見を生み出す力関係、歴史、構造は世界中に存在します。多様性、公平さ、インクルージョンは、世界的に重要な問題です。

国際ロータリー理事会とロータリー財団管理委員会は、多様性、公平さ、インクルージョンの原則を採用し、ロータリーはあらゆる言動においてこれらの原則に従うための行動を起こしています。多様で、公平で、インクルーシブな組織となることで、ロータリーでの会員の体験がより充実したものとなり、より有意義で効果的な奉仕プロジェクトの実施が可能となり、ロータリーに参加したいと望む人たちにとって魅力のある開放的・歓迎的な環境を築くことにつながります。

My ROTARYにあるこのDEI(多様性、公平さ、インクルージョン)を各クラブの中で会員同士がどのような言動が適切かを話し合いそして行動に移していきましょう。

第二地域 ロータリーコーディネーター補佐

松坂 順一 (東京葛飾東 RC)

オミクロン株が日本中にまん延している中、ロータリー活動にも支障が出ていますが、ロータリアンの皆様には大変な日々が続いておられることとお察しいたします。我が2760地区でも公共イメージ向上に最適手段であるWFF(ワールドフード+ふれ愛フェスタ)を4月に予定しておりますが、開催できるか心配しております。

そんな中で、2760地区では一般の皆様にもロータリー活動を知っていただく手段として「国際ロータリー第2760地区の活動」と題して小冊子を発行いたしました。この冊子は地区84クラブの活動や地区委員会の活動を一般の方に紹介するために公共イメージ向上委員会が主となり発行し、各方面にも配りました。この活動はどこの地区でも行っている活動ではあるかと思いますが、公共イメージ向上委員会が中心となり、実施することに意味があり、是非各地区においても行っていただきたいと考えています。冊子の内容についてご質問等ございましたら、2760地区の事務局までお問い合わせいただければと存じます。

第二地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐

加藤 陽一 (瀬戸 RC)

Dawn of Nobility — How was Rotary established? —

ロータリーの創生 Vol.7

文・絵 寺田 圭次 (ふじさわ湘南 RC)

監修 田島 透 (ふじさわ湘南 RC)

〈アーサー・F・シェルドン〉

アーサー・F・シェルドンはチェスレー・ペリーと共に1908年にH.ラグルスの紹介でシカゴクラブに入会した。シェルドンはミシガン大学の経営学部で販売学を専攻し最優秀の成績で卒業した経営哲学者。卒業後書籍販売のトップセールスマンから出版社経営を経て、ビジネススクールを開校し、サービスを中核とした販売学を教えていた。



Arthur F. Sheldon

この時期、ドナルド・カーターの一件でハリスは奉仕に大きく舵を切り、クラブ定款に社会奉仕に関する項目を追加し、会員増強拡大、奉仕の実践を強く推し進めていた。

シェルドンは互惠・親睦派のラグルスの紹介で入会したが、奉仕理念の提唱者として相反するハリスの片腕として協力していくこととなる。

ハリスはロータリー思想を普及させるためシェルドンを拡大委員長に任命し、ロータリークラブ創設を促進した。こうして奉仕理念が拡大していく一方、親睦は徐々に後退していく。

〈シェルドンの奉仕理念〉

富を得た者が勝者であるという利己的な理念に対し、自分だけが儲ければ良いというビジネスから脱し、他人に対して奉仕することが真の商売の在り方であるとシェルドンは説いた。19世紀の倫理観の欠落した商売と異なり、20世紀のビジネスは永続的に発展させるため「富を他人と分配する」ことを遵守すべきだと主張した。

彼はその理念のモットーを「He profits most who serves his fellows best.」と表した。

職業倫理が低く、悪い商習慣が蔓延る過酷な当時の社会の中で、永続的に発展し成功するためには、事業主の従業員への気配り、顧客へ与える満足感、仕入業者への配慮等、サービスを心掛けるのが肝要であり、これらが事業に良い作用を導くのである。

事業で成し得た成功は、経営者一人が得たものでは無く、従業員、下請け業者、顧客、競合他社等全ての関係者のおかげと感謝し、利益を適正に分配する真心を持って臨めば、事業を真に発展させることが出来る。これらの考えに基づいて経営を実践し継続的発展を実証すれば、同業他社もそれに倣い、業界全体の職業倫理の向上に繋がるはずである。これがシェルドンの理念の真意である。



Paul P. Harris Arthur F. Sheldon

〈ポール・ハリスの「寛容論」〉

ハリスは奉仕の概念をクラブに入れようと、「親睦」の上に「奉仕」を位置付けようとした。親睦と奉仕が相容れない場合は、親睦を抑え奉仕を優先するべきという立場を取った。

このようなハリスたちの主張のために、クラブの親睦は著しく崩壊し、クラブの一体感は損なわれていく。そうしたクラブの状況を見てハリスは親睦を奉仕の下と捉えることの誤りに気づく。

職業人の親睦団体としてスタートしたロータリークラブ。その根本を失って成り立つはずもなく、ハリスは自戒し「親睦と奉仕は表裏一体だ。いずれか一方を優先させるべきではなかった。ロータリーは親睦と奉仕の調和の上に成り立っている」と悟ったのである。

1910年11月、ハリスはその気持ちを全てのロータリアンに伝えるため、論文を執筆した。

チェスレー・ペリーは、ハリスの論文を発表するため、自ら編集長を務めて機関誌“The National Rotarian”を発刊する。この中で「私はロータリーを発案し創設した。神様は私を高い場所に導いてくださった。ロータリーとは「寛容である」と考えている」と語っている。

「寛容に考えて、親睦もロータリーの大切な要素であるが、奉仕もまた大切な要素だ。人に考えを押し付けてはならない。寛容な考えの中にロータリーは存在する。」これがポール・ハリスのロータリー理論である。

ハリスがこのような考えに至ったエピソードがある。

全米ロータリー連合会の初代会長の人選にロータリー創設者であるハリスの名前が上がったが、親睦を踏み躪ったという意見があり慎重論もあった。そのため選出に時間がかかり、ハリスは結果的に選出されたが在任期間が短かった。そのことに同情論が起り、翌年度も継続して会長を務めることになった。ハリスはこれに感謝し、強引に奉仕理念を推し進めようとしたことを大いに反省したと言われている。

GROW MORE MEMBERSHIP!

～新会員's VOICE vol. 6～

地区会員増強維持拡大委員会 委員長 岩澤 あゆみ (茅ヶ崎 RC)

毎号、順番に各グループから数名の新会員の方をご紹介します、生の声を皆様にお届けしております。

第6回目は第9グループから3名の新会員をご紹介します。

お父様が長年ロータリアンで、これまで家族としてクラブから温かなおもてなしをたくさん頂いてきたという青山会員。職場の上司が入会をしていて、いつも楽しそうにロータリー活動をしている姿を見ていたという湯山会員。一人で東北支援など様々なボランティア活動をしてきたが、今度は組織に入ってさらなる奉仕活動に取り組みたいという山神会員。今年度初めに入会したばかりの皆さんですが、積極的にロータリーやクラブと向き合っていると感じるお話をたくさん伺えました。

また今回は、各クラブを良く知る第9グループの木村隆也ガバナー補佐にもインタビューアールとして参加頂き、さらに興味深いお話を引き出すことが出来ました。新メンバーから見たロータリークラブのイメージや入会に至る経緯、ロータリーに期待することや今後の抱負を語っていただいております。新たな増強維持のヒントが隠されているかもしれません。是非、下記のサイトやQRコードからアクセスして、動画をご覧ください。幸いです。

(動画は約34分ほどです)



<https://youtu.be/47N8qowpko0>

新会員 青山 恵美 (小田原RC)
湯山 昌樹 (小田原北RC)
山神 裕 (足柄RC)

インタビューアール 木村 隆也 (第9グループガバナー補佐・小田原RC)
岩澤あゆみ (地区会員増強維持拡大委員長・茅ヶ崎RC)
堂前 慶之 (地区会員増強維持拡大副委員長・伊勢原RC)

新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



みなみ ゆうき
南 裕貴
①横須賀
②2021.10.29
③保険業
④岡田英城



きたむら ひさし
北村 久史
①秦野
②2021.11.9
③不動産業
④宇山忠男
秋山純夫



そめや こうへい
染谷 耕平
①相模原
②2021.11.14
③司法書士
④宮崎哲朗



たなか かつのり
田中 克典
①小田原北
②2021.12.1
③保険業
④西山量雄
西山義久



かわはら はるお
桑原 治夫
①大和
②2021.12.7
③システム設計開発
④本田誠一



すぎうら ひろこ
杉浦 浩子
①横須賀
②2021.12.10
③不動産管理
④八巻敏博



とよしま まりこ
豊嶋 まり子
①鎌倉
②2021.12.14
③証券業
④箱山直樹



おいかわ ゆたか
及川 豊
①鎌倉大船
②2022.1.6
③地方銀行(普通銀行)
④小山和秀



たかだ たかひろ
高田 孝広
①鎌倉
②2022.1.18
③小売業
④林 雅巳
矢崎岳人

第2780地区 2021年12月末 会員数

グループ	クラブ名	例会数	出席率(%)	会員数											
				12月末		年初7月1日		本年度入会者		本年度退会者		本年度増減			
				男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
1	横須賀	3	76.15	117	14	121	14	2	1	6	1	-4	0		
	横須賀北	3	89.47	19	4	20	4	0	0	1	0	-1	0		
	三浦	4	59.49	29	1	29	1	2	0	2	0	0	0		
	横須賀西	4	100.00	14	0	14	0	0	0	0	0	0	0		
	横須賀南西	3	80.91	11	0	11	0	0	0	0	0	0	0		
計			81.20	190	19	195	19	4	1	9	1	-5	0		
2	鎌倉	3	67.09	77	14	78	13	2	1	3	0	-1	1		
	逗子	3	65.89	42	4	45	4	1	0	4	0	-3	0		
	鎌倉大船	3	76.49	14	0	16	0	0	0	2	0	-2	0		
	葉山	4	61.91	21	4	22	4	2	1	3	1	-1	0		
	鎌倉中央	2	65.59	22	4	22	4	0	0	0	0	0	0		
計			67.39	176	26	183	25	5	2	12	1	-7	1		
3	藤沢	4	74.42	41	13	42	13	1	1	2	1	-1	0		
	藤沢西	3	73.33	20	1	20	1	0	0	0	0	0	0		
	藤沢東	3	74.56	33	7	32	8	4	0	3	1	1	-1		
	藤沢北西	4	75.00	12	0	11	0	1	0	0	0	1	0		
	藤沢南	3	68.47	38	7	38	7	1	0	1	0	0	0		
	ふじさわ湘南	4	54.41	34	1	34	1	0	0	0	0	0	0		
	かながわ湘南	3	41.27	20	12	21	13	0	0	1	1	-1	-1		
	アーカス湘南	4	83.34	3	2	3	2	0	0	0	0	0	0		
イノベーションウェイ	1	67.86	28	1	27	1	1	0	0	0	1	0			
計			68.07	229	44	228	46	8	1	7	3	1	-2		
4	茅ヶ崎	4	91.33	40	5	39	5	1	0	0	0	1	0		
	寒川	3	96.55	30	1	30	1	0	0	0	0	0	0		
	綾瀬	3	92.93	35	0	35	0	0	0	0	0	0	0		
	茅ヶ崎湘南	3	63.16	45	1	41	1	5	0	1	0	4	0		
	茅ヶ崎中央	3	76.19	49	3	49	2	3	1	3	0	0	1		
綾瀬春日	4	66.00	23	1	24	1	0	0	1	0	-1	0			
計			81.03	222	11	218	10	9	1	5	0	4	1		
5A	相模原	4	65.86	71	6	68	5	3	1	0	0	3	1		
	相模原グリーン	3	64.74	51	5	52	5	0	0	1	0	-1	0		
	津久井中央	4	82.14	22	4	20	4	2	0	0	0	2	0		
	相模原橋本	4	51.54	63	8	59	9	6	0	2	1	4	-1		
相模原ニューシティ	2	64.29	42	5	42	5	0	0	0	0	0	0			
5B	相模原南	3	76.83	52	9	51	7	2	2	1	0	1	2		
	相模原中	4	93.78	26	3	27	3	0	0	1	0	-1	0		
	相模原西	4	57.78	44	4	45	5	0	0	1	1	-1	-1		
	相模原外	0	0.00	8	4	8	4	0	0	0	0	0	0		
	相模原東	2	89.29	16	4	14	4	2	0	0	0	2	0		
相模原柴胡	3	79.01	27	2	26	2	1	0	0	0	1	0			
相模原かめりあ	2	65.00	30	30	23	23	7	7	0	0	7	7			
計			65.86	452	84	435	76	23	10	6	2	17	8		

グループ	クラブ名	例会数	出席率(%)	会員数											
				12月末		年初7月1日		本年度入会者		本年度退会者		本年度増減			
				男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
6	厚木	3	82.08	41	2	42	2	0	0	1	0	-1	0		
	大和	3	87.50	34	5	33	5	2	0	1	0	1	0		
	座間	3	67.86	30	1	30	1	1	0	1	0	0	0		
	大和中	4	76.04	25	1	25	1	1	0	1	0	0	0		
	厚木中	3	92.75	24	1	24	1	3	0	3	0	0	0		
	大和田園	4	85.93	30	2	31	2	0	0	1	0	-1	0		
	海老名	2	68.63	51	4	51	4	1	0	1	0	0	0		
	海老名樺	3	63.71	37	5	35	4	2	1	0	0	2	1		
	厚木県央	3	83.60	39	4	38	4	1	0	0	0	1	0		
	本厚木	2	72.86	34	3	35	4	0	0	1	1	-1	-1		
計			78.10	345	28	344	28	11	1	10	1	1	0		
7	秦野	3	72.78	50	7	49	7	1	0	0	0	1	0		
	伊勢原	4	66.04	51	3	51	3	2	0	2	0	0	0		
	秦野中	4	86.49	38	2	39	2	1	0	2	0	-1	0		
	伊勢原中央	2	95.84	12	0	12	0	0	0	0	0	0	0		
	秦野名水	4	82.81	16	7	16	7	0	0	0	0	0	0		
伊勢原平成	3	78.33	20	1	19	0	1	1	0	0	1	1			
計			80.38	187	20	186	19	5	1	4	0	1	1		
8	平塚	4	75.82	61	4	59	4	2	0	0	0	2	0		
	大磯	2	75.24	16	2	16	2	0	0	0	0	0	0		
	平塚北	3	63.68	37	6	37	6	1	0	1	0	0	0		
	二宮	2	100.00	8	2	8	2	0	0	0	0	0	0		
	平塚西	3	66.66	30	1	30	1	0	0	0	0	0	0		
平塚湘南	3	68.26	46	7	46	8	1	0	1	1	0	-1			
計			74.94	198	22	196	23	4	0	2	1	2	-1		
9	小田原	3	83.14	64	5	58	2	6	3	0	0	6	3		
	湯河原	4	84.38	25	4	24	3	1	1	0	0	1	1		
	箱根	3	82.86	35	2	36	2	0	0	1	0	-1	0		
	小田原北	3	87.80	32	4	30	4	2	0	0	0	2	0		
	小田原城北	3	69.28	44	3	45	3	0	0	1	0	-1	0		
小田原中	3	85.10	49	5	49	5	0	0	0	0	0	0			
足柄	3	79.63	17	1	17	1	1	0	1	0	0	0			
計			81.74	266	24	259	20	10	4	3	0	7	4		
総計			75.41	2,265	278	2,244	266	79	21	58	9	21	12		

地区内クラブ	地区内会員総数(人)	
65	2,265 (278)	()内は女性会員
本年度入会者数(人)	本年度退会者数(人)	本年度会員増減数(人)
79 (21)	58 (9)	21 (12)



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2780

2021~2022 Governor

Toru Tajima

■OFFICE

Aizawa Bldg.#1,5F,22-7-501
 Minami-Fujisawa,Fujisawa-city,
 Kanagawa 251-0055 JAPAN
 Tel:+81-466-25-8855 Fax:+81-466-25-8866
 E-mail:g-office@rid2780.gr.jp
 URL :https://rid2780.gr.jp

2021~2022 年度ガバナー

田島 透

■事務所

〒251-0055
 藤沢市南藤沢 22-7-501 第一相澤ビル5階
 Tel:0466-25-8855 Fax:0466-25-8866
 E-mail:g-office@rid2780.gr.jp
 URL :https://rid2780.gr.jp

ガバナー月信 2022年2月1日 第8号